

## 第68回（令和3年度）矢野賞受賞者の概要

ときみつ かずき  
**時光 一樹** (38歳)  
岡山市北区石妻



**経営内容：水稲**  
**（水稲 32ha、作業受託 18ha、ぶどう30a）**

実家が営む水稲とぶどうの複合経営を継ぐため、農業大学校を卒業後、平成15年に就農した。

就農後は、農地集積や水稲の作業受託に積極的に取り組むとともに、スマート農業の実践による生産性の向上や、生育診断によるきめ細かな管理で酒造好適米の高品質生産を実現するなど、中山間地域における大規模水田農業経営を確立した。

青年農業者クラブ活動では、単位クラブや地方協議会の要職を歴任、異業種交流などで活動を牽引した。

また、地域では長年の課題であった水利条件を改善、「人・農地プラン」の中心経営体として活躍するなど地域農業の維持・発展に大きく貢献している。

ほんごう ゆうき  
**本郷 祐希** (36歳)  
赤磐市馬屋



**経営内容：果樹**  
**（ぶどう 37a、もも 25a）**

大学卒業後、民間企業に就職したが、経営主になる夢と、地域の農地を守りたいとの思いから、平成22年に就農した。

全く果樹の栽培経験がない中、地域の先進的農家の元で技術を研鑽し、就農後短期間でトップクラスの栽培技術を習得、地域のシャインマスカットのブランド化に貢献するなど産地を牽引している。

青年農業者クラブ活動では、単位クラブ、地方協議会の会長を務め、地元小学校での食育活動などを熱心に行いクラブを牽引している。

地域では、就農アドバイザーとして就農希望者を就農に導くなど、人材育成に大きく貢献している。

ふじた しょうだい  
**藤田 翔大** (36歳)  
津山市小田中



**経営内容：野菜**  
**（さつまいも苗 30a、たまねぎ苗 80a、その他野菜 43a）**

タキイ研究農場附属園芸専門学校を卒業後、平成17年に野菜苗を生産する実家に就農した。就農後、出荷先を大口顧客へと拡大し、栽培面積、売上ともに大きく経営発展を遂げている。

作業の省力化や作業性の改善に積極的に取り組み、その技術を地域に広めることで、実需者に信頼される県内有数の野菜苗産地へと発展させるだけでなく、新規就農者の経営安定支援にも尽力してきた。

青年農業者クラブ活動では、単位クラブや地方協議会の会長を歴任し多くの活動を牽引してきた。

地域においては、地元小学生への食育活動等に力を注ぐほか、若手地元有志の会など多岐にわたる活動で農村の活性化に大きく貢献している。